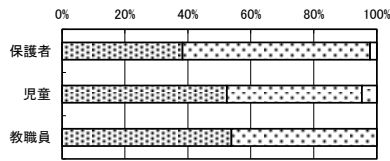


■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

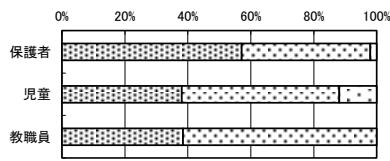
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



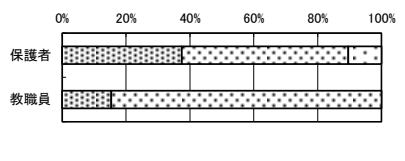
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。



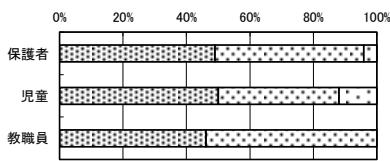
【備考】

○学校教育目標については、保護者が集まる機会があるごとに校長が話をしたり、学校だよりを通して説明をしてきた。子どもたちにも全校集会の中で、めざす子ども像として話をし、目標を持たせてきた。意欲的な学校生活については、昨年よりやや悪くなっている。学級経営を見直していく必要がある。
○「教師の連携協力」については、教師側の自己評価が昨年よりかなり良くなっている。今後も全員が協働できる体制をつくっていききたい。

教科指導

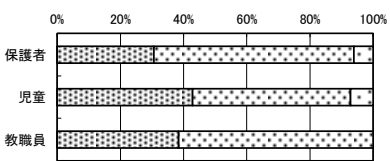
4 授業づくりの工夫

先生たちは、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



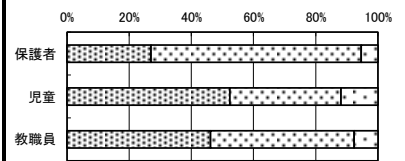
【備考】

○教科指導については、保護者・教職員は高い評価を示しているが、児童の評価は昨年より下がっている。全員がわかる授業づくりに向けて一層努力する必要がある。
○授業への意欲は昨年より良くなっている。授業改善を今後も推進していきたい。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



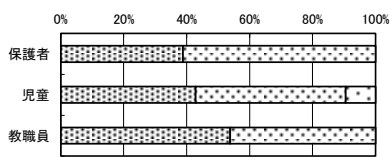
【備考】

○今年も地域に学ぶ学習を進め、地域の「人、こと、もの」に触れることができた。保護者・児童の評価は変わらないが、教職員の評価は昨年より良くなった。

道徳教育 心の教育

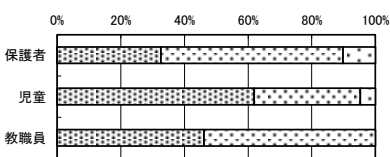
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切に心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。



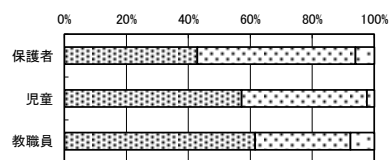
【備考】

○「道徳、心の教育の充実」については、昨年度より保護者・教職員の評価が上がった。今後も児童一人一人によりよい生き方を考えさせられるような取組を全校で実践していきたい。
○児童会中心のあいさつ運動に加え、住吉中との小中連携あいさつ運動にも取り組んだ。学校の中だけでなく、家族や地域の方にも気持ちのよいあいさつをすることが、自分にも地域にも元気を与えることになることをこれからも学ばせていきたい。昨年より、教職員の評価が上がった。

人権教育

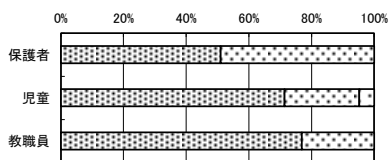
9 一人一人の児童の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



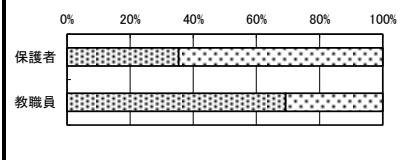
【備考】

○人権教育についての評価は、昨年より、どの項目もほぼ良くなっている。今後も『くまもとの教職員像』を念頭に置き、教育的愛情と人権感覚を高め、一人一人の個性やよさをしっかりと見つけていきたい。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学習の支援を必要とする子どもの教育について、学校は共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



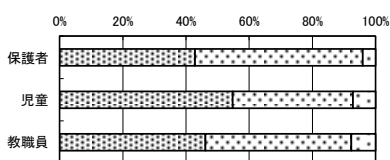
【備考】

○特別支援学級が新設され相談活動やSSTなど必要な支援に取り組んできたことで、保護者、教職員とも評価が良くなってきたと考えられる。

生徒指導 教育相談

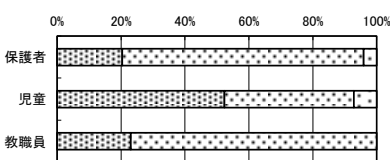
12 児童理解

先生たちは、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



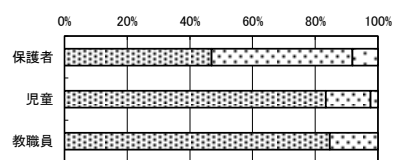
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



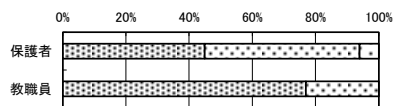
【備考】

○児童理解、規範意識とも保護者の評価が昨年より向上した。教職員はいじめや問題への対応はできているが、日頃の児童理解には課題が残る。
○規範意識については、児童の評価が昨年より向上した。児童の意識には変化があるので、今後も継続して見守っていききたい。いじめや問題への対応についても児童の評価は、昨年よりよかった。

健康教育 安全

15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。

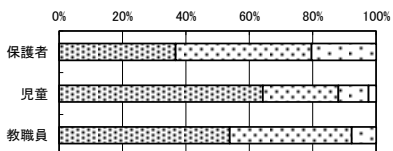


【備考】

○今年度も地域の方による安全パトロールや保護者による下校の見守りを協力いただき、事故なく児童は安心して登下校できた。安心メールも効果的に活用することができた。
○部活動がなくなり運動の機会が減ったことで昨年度は評価も下がったが、市の長距離大会・駅伝大会やドッジボール大会など学校から参加を募り、運動の機会を確保したこと、朝ランも継続したことで評価が上がったと考える。

16 体力向上

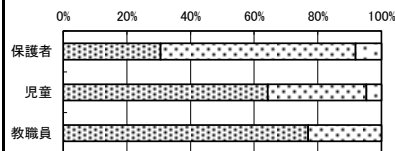
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



学校行事

17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



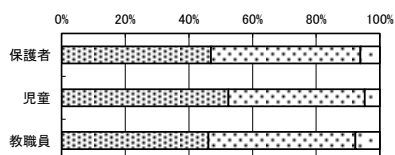
【備考】

○評価自体は昨年とほぼ同じである。例年行っている行事が多いが、それぞれの内容を工夫していきたい。行事自体を変えるのではなく、内容の工夫が求められていることをしっかり受け止めたい。

学校環境

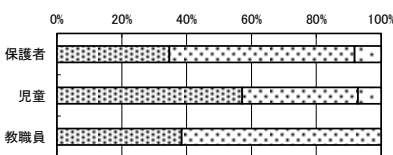
18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。



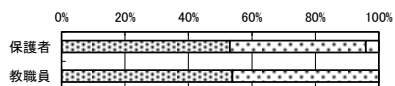
【備考】

○教職員の自己評価が昨年より良くなった。児童の方は、朝のボランティア活動や縦割り掃除にしっかり取り組み、きれいな学校にしようと努めている。花壇も年間を通して整理されていた。ただ児童玄関掲示物の整理が十分にできず、反省している。課題を次年度に生かし、環境美化に努めていきたい。
○毎月の安全点検・環境衛生点検は確実にを行い、修理等は事務の方で早急に対応した。本年度も通学路の工事が多かったが、業者や地域の方と打合せを十分に行うことで対応できた。評価自体は、昨年と変わらなかった。

情報の公開・発信

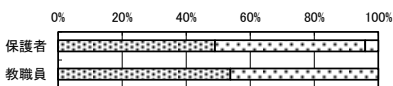
20 学校の予定等がわかる情報発信

学校・学級からのお便り等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



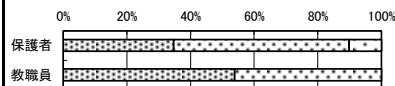
【備考】

○情報発信については、教職員の自己評価が昨年より向上した。保護者の評価は、昨年と変化がないので予定を早めに知らせるとともに、ホームページ等の有効活用も考えていきたい。
○教育活動への参加についても、教職員の自己評価が昨年より向上した。今後は、保護者だけでなく、祖父母、地域の方々など多くの人に來校いただけるような温かい雰囲気づくりに一層努めていきたい。

家庭・地域との連携

22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



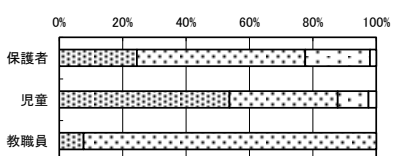
【備考】

連携協力において、保護者に昨年より高い評価を得た。公民館で通学合宿が行われるが、学校・家庭・地域が一体となった活動だと感じる。そのような協働をさらに広げていきたい。

家庭学習とノーメディアデー

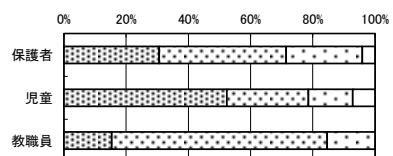
23 家庭学習

子どもは、家庭学習の習慣が身についていると思いますか。



24 ノーメディアデー

子どもは、毎月のノーメディアデーに取り組んでいると思いますか。



【備考】

○家庭学習に関しては、教職員の自己評価が昨年より向上したが、保護者・児童の評価は変化がなかった。学力調査結果でも家庭学習のあり方に課題が出ているので、課題の出し方を工夫するとともに、学級懇談会等で家庭との連携を深める手立てをとっていく必要がある。
○ノーメディアデーの取組は、数年継続したことにより定着してきている。しかし、十分にできていない児童の割合も高く、保護者の意識にも差が見うけられる。さらなる啓発が必要と考える。

来年度の具体的な取り組みについて

○本校の目指す児童像については、本年度も機会あるごとに周知してきた。学校行事等、様々な活動を行う中で、どの活動でどの児童像へと導いていくのかを明確にし、保護者や地域に説明することで理解や協力を得ていくようにしていきたい。
○全国学力調査、県学力調査、市標準学力調査の結果を十分に分析し、次年度の学力向上検証改善サイクルを設定していく。また、本年度の校内研修で取り組んだ授業改善の気運をさらに高めていきたい。
○「分かる・楽しい授業」5つの心得や住吉中校区で作成した「学びのものさし」を常に念頭に置きながら、授業づくりを行っていく。
○特別支援学級については、全職員が共通理解のもとすべての教育活動を行っていく。すべての児童をすべての職員で見守る姿勢を継続する。
○学校・地域（学校運営協議会等）が、会合の中で学校や児童の課題を共有できるようにする。また、地域の方々に活動の支援をいただくだけでなく、学校と地域がお互いに恩恵のある活動にしていきたい。

学校関係者評価（学校運営協議会評価）

○いじめのない学校にするために、学校はよく取り組んでいると思う。いじめの未然防止と早期の対応が大切であるので、家庭との連携を深め、いじめをしない、させない、いじめは犯罪であるという認識を育ててほしい。
○授業参観に時々参加するが、子ども達はよくがんばっているの、授業の中味を充実させてほしい。
○あいさつについての評価が、子どもたちと大人（保護者、教職員）では評価に差がある。登下校など集団にいる時に地域の人たちへあいさつすることはできている。しかし、一人ではできなかったり、家庭ではできていない面があるのではないかと。
○家庭や地域との連携では、今年度田植えや稲刈り、芋掘り等への保護者の参加が見うけられ、とても良かった。事前にメール等でお知らせしたことや活動が一定の成果を収めていることが起因していると思われる。
○学校からの発信はよくできている。学校だよりが各区長に配付され、ありがたい。
○学習支援コミュニティ活動としては、来年度読み聞かせに保護者の参加を募りたい。
○環境づくりコミュニティ活動としては、来年度夏休みに資源ゴミ分別回収の体験を地区ごとに行きたい。
○健康・安全コミュニティ活動の一環として、生活安全パトロール隊の皆さんの子ども達への周知をお願いしたい。また、運動会の期日の周知徹底を図っていききたい。